

岡山県議会議員 議会運営委員会副委員長

太田まさたか

おおた



プロフィール

昭和39年生まれ 57歳
〔役職歴〕土木委員会委員長、農林水産委員会委員長
総務委員会委員長、県監査委員
〔選挙区〕岡山市北区・加賀郡

県政だより 令和4年 春号 VOL.48

編集責任者:太田正孝 岡山市北区延友455 TEL.(086)201-5523

世界の一人ひとりから 平和を求めよう!!

平素は私の議員活動に對しまして温かいご理解ご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

この県政だよりの執筆をしている今は桜が満開となっております。三月六日に、まん延防止等重点措置が解除されました。感染者数を見ると心配は残りますが、日常生活が回って行かなくなりました。この感染防止と経済活動とのバランスがとれず難しいのですが、経済を回す方向に舵が切られました。経済支援に注力していきます。

對して非難決議を行いました。この非難決議をした日に、質問者として登壇した際、今、軍人となった、東京オリンピック空手ウクライナ代表で銅メダリスト、スタニスラフ・ホルーナ選手の言葉を紹介させていただきました。彼は、「戦争が始まりました。私たちは強制的に人を殺し、殺されることになりました。狂っている。しかし、これが現実です」、続けて、「プーチンは、今の時代の最悪のテロリスト」と言っています。今も、ロシアの侵略は続き、世界中に広がっている不安と緊張は益々大きくなっています。しかし、自由と民主主義、法の支配を守る私たちは、私たちの結束を固くし、ウクライナを守

ろうとの声を一つにすることで、必ずこの事態を解決できると信じています。たとえ大国でも、孤立すれば、立ち行かなくなります。

今の世界情勢から、エネルギー資源の価格急騰が起こり、もう既にガソリン代、食料品等の値上げが続ぎ、暮らしを脅かし、ビジネスにも大きな影響が出始めています。二月定例県議会で岡山県経済、岡山県民の暮らしについて、国の政策を素早く県内に展開できるように、岡山県庁は準備をしておいでいただきたいと県当局に強く要望しました。

この県政だよりが届く頃、どうなっているのか、心配です。出来ること全てやっていくことをお誓い致します。

岡山県議会議員 太田 正孝

議会報告 県報

令和三年十一月定例会

令和三年十一月八日に一般質問に登壇しました。

カムカムエヴリバディの放送を 岡山の好循環に。

NHKの朝の連ドラ「カムカムエヴリバディ」は岡山が舞台となっており、岡山が全国から注目されている。今の岡山への注目を岡山人気にと捉え、引き続き、岡山弁も効果的

「カムカムエヴリバディ」は岡山が舞台となっており、岡山が全国から注目されている。今の岡山への注目を岡山人気にと捉え、引き続き、岡山弁も効果的

ムページでの岡山弁紹介コーナー創設、「東京のアンテナショップでの『カムカム岡山フェア』の開催」を提案した。

知事からは、「連続テレビ小説の中で岡山弁や本県の風景などが描かれており、岡山の認知度向上の好機と捉え、引き続き、岡山弁も効果的

に活用し、本県の魅力をインパクトのある形で発信していきます」との回答を戴いた。

横断歩道での一時停止の徹底を!!

通園・通学中の子どもが巻き込まれる事故が県内においても後を絶たない。そこで、横断歩道一時停止について、県警は、「目と手で合図! ストップ運動」を展開している。筆者からも県民運動を徹底してほしいと提案した。

県警本部長から以下の二点の回答を戴いた。

○岡山県交通安全対策協議会が主催する「目指せ日本一交通マナーアップ県民運動」の本年度の重点目標に、「信号機のない横断歩道における歩行者優先の徹底」を新たに追加して取り組んでいる。そして、年末年始の交通事故防止県民運動の重点推進項目にしている。

○令和二年十一月から、歩行者優先安全プロジェクトとして、「目と手で合図! ストップ運動」と「横断歩行者等妨害等違反の取締り」を徹底強化している。更に、運転免許証更新時の講習や交通安全教室、県警SNS等を活用した広報啓発等により、信号機のない横断歩道における一時停止の徹底を県民に呼びかけている。

再質問で、「止まれ」や「横断歩道」のラインが消えていることを取り上げた。警察本部や道路管理者が直して下さっているもの、まだ消えかけている所がある。ラインがいつもキレイに引かれている



地元紙に呼びかけがされていることを紹介

ることが、安全を保ち、県民の命を守るという県の意気込みをドライバーにも感じさせ、歩行者や自転車も守られていると感じるのだと思いつから、ラインの管理を要望した。

県警本部長からは、「道路標示等の標示が薄れている部分も間々見受けられる。様々な機会を捉えて点検に努め、標示が薄れている部分は、特に安全対策上重要な所は補修するよう努める」と回答を戴いた。

データセンター誘致を!!

岸田内閣はデジタル田園都市国家構想推進交付金二百億円、地方創生拠点整備交付金四百六十億円と、手厚い予算を提案している。国のデータセンターについて、吉備高原をはじめ岡山県には適地が多くある。是非とも岡山県への誘致をしてほしいと要望した。

知事から、国は「デジタルインフラ整備に関する有識者会合」で、関東近辺に集中している国内のデータセンターについて、立地条件など最適配置に関する検討が進められていることの説明があった。その上で、今後、国の動向等を注視しながら、市町村と情報共有を図り、適切に対応したいと県の姿勢も示された。

再質問で、一年前の同僚議員の質問に対して、副知事から、「大事なことは国に對しての戦略とそれから地元の協議調整である」との回答があったことを引き合いに出して、一年が経ち、現状の取組について訊ねた。

知事からは、「データセンター、その地盤が悪いと、そもそも候補に挙がらないということでは、吉備中央町を中心としたこの吉備高原、非常に地盤が安定していること



は、今はもうほぼ岡山県民の常識になりつつある。これは二十年前、三十年前までは、我々もそこまで特別な場所とは知らなかった。これは、もうぜひ活用していきたい、日本中の方に地盤の安定さ、貴重さということは理解してもらいたい。今、ドラマ(日本沈没)でも関東地方が水没をしているところで、やはり関東近辺はデータセンターには向いてないなということを改めて感じている。これからのしっかり運動をしていきたい」との力強い言葉があった。

令和四年に入り、吉備中央町は国の「デジタル田園健康特区」に指定された。各プロジェクトが動き出していることを感じる。

スマート農業に取組む 岡山県の組織体制について

スマート農業推進チームは今どれぐらいの規模で、どのようなチームなのかを農林水産部長に訊ねた。

このチームの詳しい説明をいただいた。整理して報告する。

①スタート時期…令和三年度

②総括…農林水産部農産課が指揮

③一番大きな人員がいる部署…農業総合センター普及連携部

④取組状況…

○現に実用化されている技術の普及

○総合センター内の農業研究所で実証研究等

○そうしたデータの蓄積を踏まえ、各県民局の農林水産事業部が現地への普及

○本庁耕地課も、そのスマート農業に対応した基盤整備に関する技術的な助言をしている。

⑤特に最近目立った動き…

国のスマート農業の開発実証プロジェクトの採択を、令和元年から受けている。おとしし(令和元年)と去年(令和二年)は赤磐市と真庭市で、水稲の作付から収穫までの間で、今、現に実用化されている技術を全て一貫して用いて、「作業の効率化」と「収量の増加」の実証実験を行っている。

さらに現場への普及に関する課題についての研究を、国と共に行っている。

⑥今後について…情報を岡山県庁の中でさらに集約して、一日も早く、できれば導入しやすい価格になれば一番いいけれども、課題を解決しながら現地への導入を進めていきたい。

保健福祉部の持つ計画について

保健福祉部は、地域福祉支援計画、第八次保健医療計画をはじめ二十四件の計画を持っている。医療福祉については、負担が大きくなっているとの県民の声を多く聞く。これらの計画が県民生活にどれだけ役立っているのかという実感も難しくなっている。これまで、県では、計画に基づき、保健所の縮小や県全体の病床数を減少させてきたが、コロナ禍における県の状況を見ると、これは間違っていたのではないかと思われることもある。また、中山間地域においては、体感として医療機関が減っていると感じる県民も多くもなっているように思う。こうした点を見ると、現在の保健福祉部の持っている二十四件の計画は、県のあるべき姿を記載はしているが、課題克服が難しく、計画は立てたものの、具体的政策を実行できないものもあるように感じるが、どうかと保健福祉部長に訊ねた。



保健福祉部長からは、「当部で所管している計画は、法律や国のガイドライン等に基づき、市町村や関係機関、関係団体等の御意見を踏まえ、よりよい施策の展開や課題解決のために推進すべき基本理念や目標等を定めている。多くの計画で具体的な数値目標を設定し、計画期間ごとに進捗状況の評価等を行い、次期計画へ反映させるなどの見直しを行っており、今後とも、具体的政策が実行されるよう取り組んでいく」との回答を戴いた。

保健福祉部は法律によってやらなければならないことが沢山ある。どうやって実行性を高めるかが大きな課題であり、この課題が改善されるように県議会から提案をし続けて行く。

議会報告

令和四年 二月定例会

令和四年三月九日の一般質問最終日、最終質問者として質問を行いました。

ロシアのウクライナ侵略による経済への悪影響に対して、今から対応を!!

エネルギー資源の価格急騰により、ガソリン代、食料品等も値上がりし続けており、暮らしが脅かされている。ビジネスにも大きな影響が出始めている。岡山県経済、岡山県民の暮らしにも、もつと悪影響が出てくるものと懸念する。

こうした不安等に政府としても、しっかりと舵取りをしていこうとする姿勢を感じている。また、県当局においても、国から出される国民生活や経済活動を守る政策が、速やかに県民生活、県内経済を守る施策に展開できるように、もう既に支援体制の準備に取組まれていると思う。現在、県民生活、地域経済を守るために、県としては、どのような対応をして行こうと考えているのか?

この件に関しては、国の政策をどれだけ早く県内で展開できるかどうかが大切である。ワクチン接種については、他県よりも早くワクチン接種対策室を立ち上げたことにより、早い接種につながっている。今回も同じような対応に期待したい。

南山城遺跡について

小田川の付け替え工事に伴い、南山城跡の現状保存が困難なことから、平成二十九年度より発掘調査が行われ、本年度、発掘調査報告書をまとめられている。城の構造や歴史などが研究され、新年度、広く公開されることになっている。どのように公開していくのか?



教育長 発掘調査報告書に加え、豊富な写真や図を用いた分かりやすいパンフレットも同時に作成し、公民館などに広く配布するとともに、古代吉備文化財センターのホームページにアップする。展示は、古代吉備文化財センター展示室で、五月中旬から十月初旬の予定で出土品や写真パネルなどの企画展示を行う。それ以外の会場での展示は検討をしていく。

産業団地整備について、市町村との連携を!!

市町村に伴走する支援体制を拡充したり、工場を移転・新設等しようとしている企業の情報を市町村と共有したりすることが必要である。市町村の企業立地事業の県からの推進サポート体制は、人的支援の面、財政面、情報提供の面、技術的な面で、新年度はどのようなものになるのか?

農地転用の課題を訊く

茨城県は二〇一六〜二〇二〇年で六百二十haの工場立地が行われていて、広大な農地が転用されている。

未利用地の活用を

三ha以上の未利用の県有地が六ヶ所あるが、担当課での検討だけでなく、産業団地の種地としての検討を行ってもよいものと考えられている。三ha以上の未利用地の産業団地としての活用を部局横断的に検討していく考えはあるか?

知事 交通アクセスのインフラの状況、土地利用規制や開発費用など、それぞれの未利用地に課題があることから、直ちに活用することは困難である。

岡山県には未利用地が多くある。土地の有効活用を今後も考えて行く。

図1 岡山県産業団地開発調査支援事業補助実績

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
適地調査件数(件)	2	1	3	1	4	2	0	2
産業団地開発又は企業立地に至ったもの(件)	1	0	1	1	0	1	0	1

図2 立地件数及び立地面積の推移

年	2016		2017		2018		2019		2020	
	件数(件)	面積(ha)	件数(件)	面積(ha)	件数(件)	面積(ha)	件数(件)	面積(ha)	件数(件)	面積(ha)
茨城県	44	140	46	87	69	147	66	151	65	95
岡山県	15	15.8	17	28.6	25	18.9	22	53.2	12	9.8

出典：経済産業省関東経済局、中国経済局調べ

七月豪雨の復旧復興に係わる河川整備について

旭川中流域について

土木部長 平成十五年三月策定の旭川水系中流ブロック河川整備計画の変更案を住民が目にする時期も近づいていると思う。

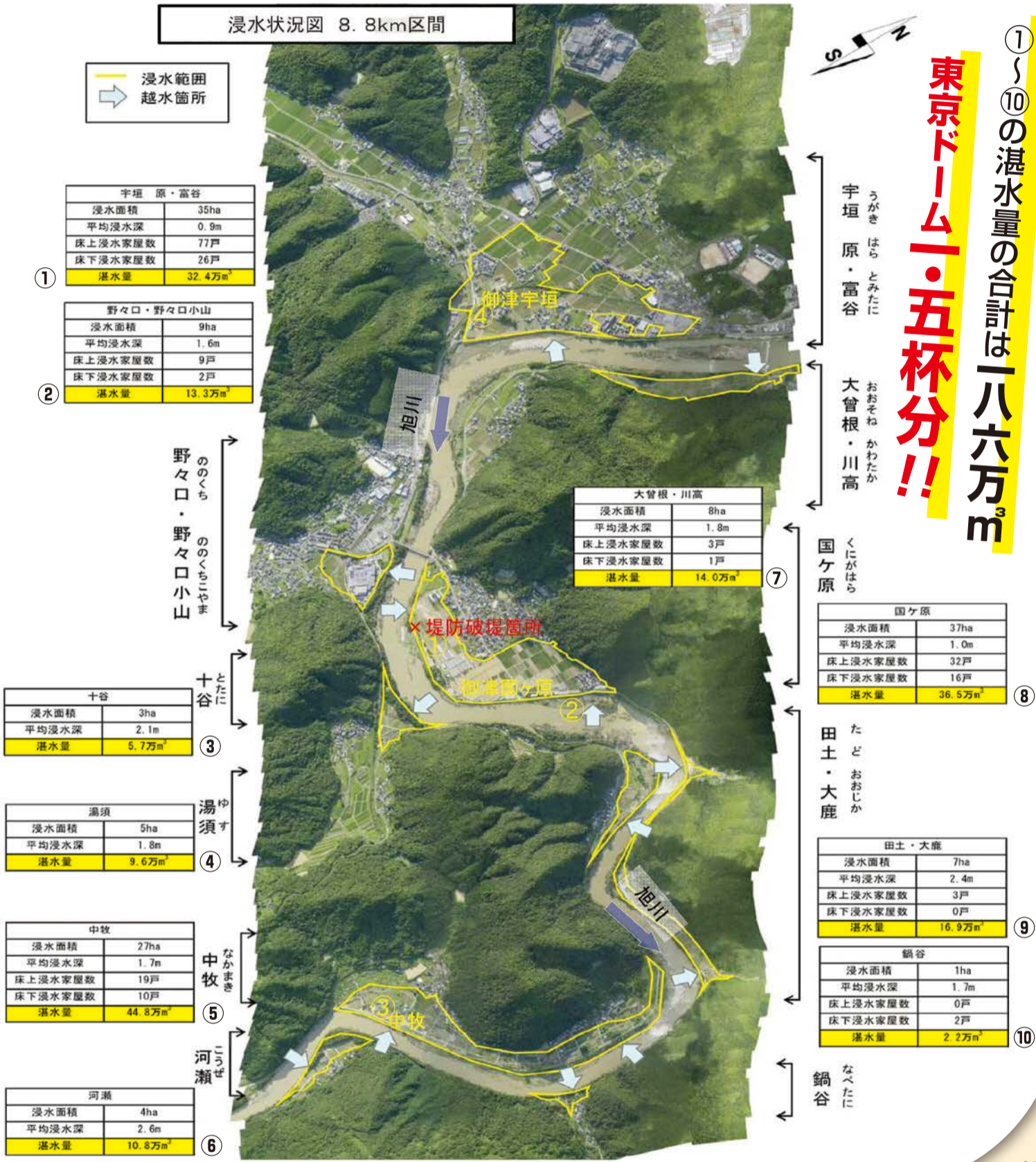
国の新たな整備計画は既に示されているが、それを踏まえた県管理分の河川整備計画の変更はどうなっているのか？

土木部長 現在、整備の目標や整備箇所などの見直しを行っている。今後、学識経験者からの意見聴取やパブリックコメントなどを行っていく。

国、県の 今後の整備はどこまで予定され、その内、令和三年度十一月補正予算と新年度予算での内容が行われる予定

一級河川 旭川中流ブロック 7月豪雨による被災状況

浸水状況図 8.8km区間



なのか？

土木部長 国は岡山市中区平井等において堤防や護岸の整備を行う。県は岡山市北区中牧地区や北区建部町小倉地区などで堤防

整備や河道掘削を行う。

これらの回答を戴いた上で、旭川流域八・八kmの区間で、七月豪雨で一八六万m³の湛水(貯まった水量)があったことを再

質問で取り上げた。これは東京ドームをタンクに見たとすると、一・五杯分になる。新しい計画では、この湛水量を減らす目標としているのか、国と同じように浸水世帯を減らす目標は立てるのかとの再質問を行った。今回は明解な回答は戴けなかったが、国のように具体的数字目標を挙げた計画になるように求め続けて行く。

笹ヶ瀬川水系について

土木部長 平成三十年十一月定例会で指摘した「整備の基本方針の中の千三百mのうち二百mの貯水池確保」は当面三十年程度の整備スパンの中に入りており、この点も計画の中に盛り込まれるべきものである。県当局からのご回答の「岡山市等での、合併浄化槽を雨水貯留施設に転用する場合や大型商業施設が来る時に貯留施設に転用する場合の補助金等の施策の取組も踏まえながら対応していく」というのは、貯水池確保を補完する取組と考える。三十年以内の整備を明確に位置付けるものとして、河川整備計画に貯水池整備をどのように盛り込んでいくのか？

足守川について

土木部長 足守地区は河川敷の洗掘箇所が多く発生し、加茂地区では張コンが洗掘されたこともある。洗掘防止策としては、どのような方法があるのか？

土木部長 既設護岸への根固めブロックの設置や、コンクリートブロックによる護岸の新設等の方法がある。

土木部長 七月豪雨以降、足守地区での緊急工事が頻発しているが、今日までに何件の緊急工事が行われたのか？(撫川橋より上流において)

土木部長 堤防や護岸の補修など、二十五件の工事を行った。

現状を踏まえて、撫川橋より上流について、どういう計画で整備していくのか？

土木部長 足守川全体の流下能力のバランスや背後地の状況等を踏まえた撫川橋上流の実施計画の策定に着手した。

土木部長 既往最大の昭和六十年六月洪水に対応することを目標に概ね三十年間で整備する内容を河川整備計画に盛り込んでいく。貯水池は必要であるが、先ず現計画に全力で取り組む。貯水池は今後の課題である。





三重県いなべ市の新庁舎

令和三年十月十四日

平成十五年に北勢町、員弁町、大安町、藤原町の四町が合併してできた「いなべ市」を訪問。人口は令和三年四月一日時点で四五二五〇人、財政力指数も〇・八を超えている。建設地は、森林であった地形を活かして、「にぎわいの森」という交流拠点施設とともに整備されている。新庁舎は本庁舎として中枢機能を集積させ、旧役場四庁舎を出先機能として窓口機能を持たせるといふ形を取っていた。



児島湖流域清掃大作戦

十月七日

「昨年は新型コロナウイルスで規模が大幅に縮小されたが、昨年は児島湖周辺等に絞られたものの、児島湖には約五七〇名の人が参加して下さった。清掃後、取られたゴミで回収場所はいっぱいとなっていた。



山梨県議会視察 十月十日

タブレットが県会議員全員に渡されて、ペーパーレス化に取り組んでいる。これまでに試行して、今年度から本格導入となつ

ている。タブレットを借りてみると、定例会ごとなどにアイコンが整理されている。アイコンをクリックすると、見たい項目を直ぐに見ることが出来る。私は予算案をクリック



静岡県地震防災センターを視察 十月十三日

静岡県には危機管理部がある。組織の規模は六十人以上。その背景には、富士山、浜岡原発もあるということ。それで、浜岡原発については、二十メートル超の津波対策の堤を造り、日本で二番目に大きい中田島砂丘においても十メートル超の津波対策の堤を造られているとの話も伺った。



避難用具も展示

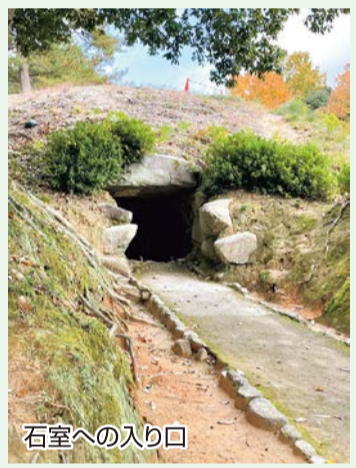
OTEX

(おがやまテクノロジー展2022) 十月十六日

約一八〇社の参加。工作機械メーカーから、船舶用エンジンサプライヤー、重機用アタッチメントサプライヤー、段ボールメーカー、機械加工企業など様々な企業が自慢の技術を遺憾なく披露していた。



古代吉備文化財センター主催の ころもり塚古墳現地説明会 十月二十三日



石室への入り口



石室の中の石棺

岡山県警機動隊載った 水難救助部隊訓練 十月二十五日



資機材購入の説明で、平成三十年の西日本豪雨を経験して、ゴムボートからウレタンボートに切り替えたとの話があった。当時、ゴムボート使用中に突起物に

確かに船をつけ、溺れている人を救助し、河川敷まで運んでいた。実際は思わぬところが次々と起こるだろうが、それでも大丈夫と思わせていただけるものであった。



陸上自衛隊日本原駐屯地 創設五十六周年記念行事 十月二十八日



今回の佐藤正久参議院議員のご挨拶で、東日本震災のお礼の言葉があった。佐藤議員の出身地は福島県である。日本原駐屯地の自衛隊員は当時福島県の新地町の救援に入った。私もその地を訪ねたことがあるが、あの時のことを忘れずにおられる。そういう思いを持って、議員活動をしていることを知り、このことはとても大切なことであると感した。

広島県庁のオフィス視察 十月三十日

まず、木製カウンターが迎えにくれる。ここから担当者に連絡。執務室に入ると、パソコンは大きなスクリーンのものに置き換わっていた。それに合わせるためか、机も袖の長い物に新調されていた。天井が高く、部屋全体が明るくなつており、一人の執務スペースも広く感じた。これらは、現在



行われている耐震化工事に合わせて行われているものと聞いた。



タブレット導入をしている 広島県議会を視察 十月三十日

説明で、いきなりタブレット導入ではなく、サイドボックス導入をしたと断りの話があった。サイドボックスとはタブレットに入っているソフトウェアのことである。このソフトウェアが便利との説明。実際に使用させていただくと、事務局が説明に合わせる、説明箇所のページを開いてくれる。もちろん、自分でも出来る。まず、こうしたやり方をやれば、抵抗感のある議員も利用できているとの話であった。



岡山中央卸売市場初競にて 令和四年二月五日

初競の朝食会場で桃鯛コーナーが設けられていた。桃鯛とは、桃の缶詰工場から、製品にならなかつた部位等を餌にした養殖鯛のことと説明を受けた。試食させていたと、硬さはなく、食感も良く、舌鼓を打った。このブランド名はなかなか面白い。これから売り出していくとのこと。世に広まって欲しいと願う。



第四十二回洋裁技能競技会 (南部高等技能専門学校) 二月十二日

競技者は今日の二時間で仕上げをするのだが、そこまでの仕事は済ませて来なければならぬ。完成作品を見ると、ドレス、ワンピース、ジャケットなどで、デザイン、シルエットは



「真金吹く吉備」展 (岡山県古代吉備文化財センター) 二月二十日

青や黄、赤の生地を敷いた上に、発掘されたものを展示して、見やすい展示で、吉備の文化をあらためて勉強することができた。この企画展は今年五月十五日まで開催されている。



編集後記

テレビの対談番組を見ていると、伊集院静氏が出演されていた。インタビューアールの林修氏が、鋭い突っ込みをしていて、面白いと思いつつ、最後まで見てしまった。この番組は人生をテーマにしていたのだが、「若い人に道を選ばなければ、向かい風になる道を選びなさい」と伊集院静氏が呼びかけていた。困難な道を選ぶ理由として、「苦勞をすれば、苦勞をしている人たちが見える。それからもう一つ、苦勞をするということはどういふことが自分で分かるから」と語っておられた。振り返って、自分はどうだったろうか？ 現在、デジタル時代が変わってきているが、苦勞をしている人のことが分からなければ、社会はおかしくなる。今、起きてくることについて、本心に憤りを覚える。穏やかな社会を取り戻すために、地方からも発信を続けて行きます。

(三月十一日 M・O)